

水道事業ローリングシート(個別事業点検表)

目指すべき方向性		強靱	基本政策	2 安定・快適な水道水の供給	施策	2-1 水道施設の更新	事業	2-1-2 老朽化管路の計画的更新	担当課	上水道建設課		
総事業費		32,409,649千円		事 前 ・ 中 間 評 価								
計画額	令和元年度(予算額)	令和2年度(予算額)	令和3年度(予算額)	令和4年度(予算額)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
	3,475,971千円	3,075,258千円	3,136,163千円	3,136,163千円	3,320,948千円	3,002,453千円	3,360,641千円	3,226,220千円	3,279,116千円	3,396,716千円		
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管1.19kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、前年度からの繰越工事1件を含め、経年管11.89kmを更新します。 (11,560m+331m=11,891m) ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・請負残額等による予算残額を適切に管理・把握し、効果的かつ効率的に活用するよう検討します。 ・老朽管を更新するための基礎調査業務を行います(4箇所)。	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管1.12kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、経年管12.81kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・請負残額等による予算残額を適切に管理・把握し、効果的かつ効率的に活用するよう検討します。	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管0.66kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、経年管11.93kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・請負残額等による予算残額を適切に管理・把握し、効果的かつ効率的に活用するよう検討します。 ・老朽管を更新するための配水管布設設計業務を行います(JR横断1箇所)。	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管1.14kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、経年管11.14kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・老朽管を更新するための基礎調査業務及び配水管布設設計業務を行います(神根地区、JR横断1箇所)。	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管0.41kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、経年管12.86kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管0.40kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、経年管14.76kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。						
	総事業費		12,168,929千円		終 了 時 評 価							
	決算額	3,285,639千円	3,003,005千円	2,975,040千円	2,905,245千円							
	達成状況	・高級鑄鉄管の予定路線1.19kmに対し、約1.17kmを耐震管により更新した。(1,169m)執行率は延長ベースで約98%であった。 ・経年管の予定路線11.89kmに対し、約13.35kmを耐震管により更新した。(13,347m(前年度からの繰越工事を含む))執行率は延長ベースで約112%であった。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と事前に施工方法、施工体制を確認し工事が完了した。 ・請負残額等による予算残額を活用し、優先度の高い管路の更新や関係機関からの要望による更新工事を実施した。(7件、743m、140,095千円)また、舗装の段差解消として、道路管理者と協議を行い、予定路線以外においても舗装補修工事を行った。(1件、324㎡、3,652千円) ・老朽管を更新するための基礎調査業務(JR横断4箇所)を発注し、現在策定している。	・高級鑄鉄管の予定路線1.12kmに対し、約1.07kmを耐震管により更新しました。執行率は延長ベースで約96%でした。 ・経年管の予定路線12.81kmに対し、約12.65kmを耐震管により更新しました。執行率は延長ベースで約99%でした。	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管の予定路線0.66kmに対し、約0.78kmを耐震管により更新しました。執行率は延長ベースで約118%です。 ・管路更新計画に基づき、経年管の予定路線11.93kmに対し、約12.20kmを耐震管により更新しました。執行率は延長ベースで約102%です。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。 ・老朽管を更新するための配水管布設設計業務を行いました(JR横断1箇所)。	・管路更新計画に基づき、高級鑄鉄管0.67km(0.57km繰越し)を更新しました。 ・管路更新計画に基づき、経年管11.02km(0.33km繰越し)を更新しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。 ・老朽管を更新するための基礎調査業務及び配水管布設設計業務を行いました(神根地区、JR横断1箇所)。							